令和３年度　運営会議　運営目的等　資料NO.２－１－１

１　目的

市の障がい者福祉に関する課題のうち、行政で取り組むこと、協議会で取り組むことを整理し、協議会の方針を決める。

２　目標

①障がい者相談支援事業等で確認できた地域課題と、解決に向けた取組の方針が、自立支援協議会構成員内で共有されている。

②各専門部会及び検討チームが滞りなく運営されている。

③みよし市における地域生活支援拠点等の整備状況が評価され、自立支援協議会構成員内で共有されている。

④全体会で協議すべき内容及び優先順位が整理・共有されている。

３　取組内容

①について

・相談支援事業等（個別支援会議や相談支援カンファレンス等）で確認できた地域課題の解決に向けて、どのように取組むか協議する。
・必要に応じて、他の機関・会議体へ働きかける。

②について

・必要に応じて、各専門部会等の運営についての協議・助言を行う。

③について

・令和２年度末時点における地域診断表を用いた評価をもとに、具体的な取組方法を検討・実践する。（必要に応じてタスクチームを開催する。）
・令和３年度末時点における地域診断表を用いた評価を行った上で、令和４年度の方針を定める。

④について

・各専門部会等の報告に加え、全体会構成員全員で協議を行えるような議題について検討し、決定する。

令和３年度　みよし市障がい者自立支援協議会　運営会議　年間計画表

		4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
全体会日程												○												○												○	
会議日程					○			○			○			○			○			○			○			○			○			○			○		
運営会議	①地域課題と方針の共有				☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆		
	取組内容	相談支援事業（個別支援会議や相談支援カンファレンス等）で確認できた地域課題の解決に向けて、どのように取組むか協議する。（毎月） 必要に応じて、他の機関・会議体へ働きかける。																																			
	②各部会・チームの進捗管理	☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆		
	取組内容	必要に応じて各専門部会等の運営についての協議・助言を行う。（毎月）																																			
	③地域生活支援拠点の整備		☆		☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆		
					タスクチーム（運営会議での協議状況に応じて随時開催）																																
	取組内容	令和２年度末時点における地域診断表を用いた評価をもとに、具体的な取組方法を検討・実践する。（タスクチームの開催：随時） 令和３年度末時点における地域診断表を用いた評価を行った上で、令和４年度の方針を定める。																																			
	④全体会協議内容の整理							☆			☆									☆			☆									☆			☆		
	取組内容	各専門部会等の報告に加え、全体会構成員全員で協議を行えるような議題について検討し、決定する。																																			
	月ごとの取組内容	②部会の運営目的、年間計画等の確認。			①地域課題報告書を踏まえた取組についての協議。 ②必要に応じて、部会等の運営について協議・助言。 ③令和２年度末評価の確認・令和３年度の具体的な取組方法を検討。			①必要に応じて他の機関・会議体へ働きかける。 ③具体的な取組を実施。 ④協議内容の検討・必			④協議内容の確認。												④協議内容の検討・必要な準備（依頼等）			④協議内容の確認。						④協議内容の検討・必要な準備（依頼等）			①②③令和３年度の評価・令和４年度の取組について検討。 ④協議内容の確認。		
	《留意事項》 ・行政が取り組んでいることについても、適宜、情報提供する。 ・運営会議事務局は、各部会の打合せ等、極力協力する。 ・タスクチームは、運営会議での協議状況に応じて随時開催する。構成員は固定せず、柔軟に対応する。																																				

資料NO.２－１－２

令和３年度　人材育成検討チーム　運営目的等

１　目的

障がい福祉従事者がソーシャルワークを意識して、業務に取り組めるようになる。

【３か年計画】
令和２年度：障がい福祉従事者に対して地域生活支援拠点の考え方を広める。
令和３年度：みよし市としての地域生活支援拠点整備のイメージを、障がい福祉従事者間で共有する。
令和４年度：地域生活支援拠点の整備を意識した具体的な取り組みができるようになる。

２　目標

① 障がい福祉従事者にソーシャルワーク・地域生活支援拠点の考え方が浸透する。
② 市内の事業所・専門機関の役割や取り組みについて知る機会をつくり、障がい福祉従事者同士のネットワークが強くなる。

３　取組内容

① 障がい福祉に関わる様々な知識を学び合う場として、on-line ワークショップを企画・開催する。
運営会議打ち合わせ②と連動して、みよし市版地域生活支援拠点（COCO-COLOR）の普及に努める。
「2030SDGｓ」カードゲームを実施する。
② 研修委員を結成し、障がい福祉従事者を対象とした初任者研修（1～5 年）・中級研修（6～15 年）を企画・開催。

※他の専門部会等が行う集合研修・オンライン研修の企画・開催に協力する。

令和3年度みよし市障がい者自立支援協議会　人材育成検討チーム　年間計画表

		4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
全体会日程												○												○												○	
協議日程				○			○			○			○			○			○			○			○			○			○			○			○
人材育成検討チーム	ソーシャルワーク地域生活支援拠点の考え方の浸透													案内				☆						☆						☆							
	取組内容	・☆on-lineワークショップの実施（テーマ：SDGｓ、人材育成・確保、地域生活支援拠点、まちづくり等） ・「2030SDGｓ」カードゲームの実施（集合研修・夏～秋）※新型コロナウイルスの状況をみながら判断																																			
	事業所・専門機関の役割を知るネットワーク強化					委員発足					申し込み				初任者①			初任者②			初任者③		申し込み				中級①			中級②			中級③			振り返り	
	取組内容	・初任者研修（１～5年※福祉職からの転職3年以内）到達目標：みよし市で一緒に働く仲間と知り合う、みよし市の福祉について知る ・中級研修（6～15年）到達目標：仕事（福祉）への想いや熱意が高まる、具体的なアクションを促す																																			
	月ごとの取組内容				研修委員発足・内容検討			初任者研修・内容検討			初任者研修・申し込み受付			on-lineワークショップの案内 初任者研修①			on-lineワークショップ① 初任者研修②			初級研修③			on-lineワークショップ② 中級研修・申し込み受付			中級研修①			on-lineワークショップ③ 中級研修②			中級研修③				
	留意事項 他の専門部会等が行う集合研修・オンライン研修の企画・開催に協力する。 ※前年度実績：就労支援部会「障がい者雇用支援セミナー」協力、みよし市障がい者自立支援協議会主催講演会（オンライン）企画・開催																																				

資料NO.２－１－３

令和３年度　暮らしの場検討チーム　運営目的等

１　目的

障がい者（児）が、地域で生活できる仕組み（緊急時対応、住まいの場の確保等）を構築する。

２　目標

①　緊急時の受け入れ体制を整備する。

②　障がい者（児）が、地域で生活できる仕組み（住まいの場の確保等）について協議する場「部会」を設置する。

３　取組内容

みよし市障がい者自立支援協議会が定義する「緊急時」とは…
日中・夜間問わず、本人又は家族等では対応できないような緊急の事態。

①について

- 緊急時の定義に基づいて、市内の緊急時対応を必要とする方の実態把握をする。
- 豊田みよしケアネットを活用できるようにする。

②について

- 部会設置に向け、月に１回検討チームで協議する。

令和３年度　みよし市障がい者自立支援協議会　暮らしの場検討チーム　年間計画表

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬
全体会日程					●				●				●
協議日程				●				●				●	
暮らしの場検討チーム	①緊急時の受け入れ体制を整備する。	運営目的等・年間計画表を確定する。 WG開催に向け、準備する。		WG開催	市内の緊急時対応を必要とする方の実態把握を行う。			WG開催				WG開催	
	取組内容	・緊急時の定義に基づいて、市内の緊急時対応を必要とする方の実態把握をする。											
	①緊急時の受け入れ体制を整備する。	豊田みよしケアネットについて知る。 WG開催に向け、準備する。		WG開催	豊田みよしケアネットに事業所の登録を行っていただく。			WG開催	緊急時対応を必要とする方の実態把握を受け、同意を得られた方に対し、登録を行う。			WG開催	登録状況を確認する。
	取組内容	・豊田みよしケアネットを活用できるようにする。											
	②障がい者（児）が、地域で生活できる仕組み（住まいの場の確保等）について協議する場「部会」を設置する。		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	取組内容	・部会設置に向け、月に１回検討チームで協議する。											
	月ごとの取組内容	①運営目的等・年間計画表を確定する。	①運営目的等・年間計画表を確定する。WG開催に向け、日程調整等の準備を行う。 ①豊田みよしケアネットについて、長寿介護課担当者より検討チーム担当者がレクチャーを受ける。 ②検討チームで協議。	①WG開催。 ②検討チームで協議。	①市内の緊急時対応を必要とする方の実態把握を行う。 ①豊田みよしケアネットに事業所の登録を行う。 ②検討チームで協議。	①市内の緊急時対応を必要とする方の実態把握を行う。 ①豊田みよしケアネットに事業所の登録を行う。 ②検討チームで協議。	①市内の緊急時対応を必要とする方の実態把握を行う。 ①豊田みよしケアネットに事業所の登録を行う。 ②検討チームで協議。	①WG開催。 ②検討チームで協議	①緊急時対応を必要とする方の登録を行う。 ②検討チームで協議。	①緊急時対応を必要とする方の登録を行う。 ②検討チームで協議。	①緊急時対応を必要とする方の登録を行う。 ②検討チームで協議。	①WG開催。 ②検討チームで協議。	①登録状況を確認する。 ②検討チームで協議。
	《留意事項》												

令和３年度　児童部会　運営目的等　　資料NO.２－２

１　目的

障がい児の早期発見とライフステージに応じた地域での生活を支援するための協議及び事業を行うことにより、障がい児の福祉、保健、保育及び教育を実施する関係機関の職員及び家族の療育意識を高め、障がい児福祉の向上を図る。

２　目標

① 乳幼児健診以後の支援体制を見直す。

② つながりシートの効果を確認し、様式等の改定につなげていく。
(2020 年度から 2022 年までの３か年)

③ 学齢期の課題解決に向けたプランを作る。

３　取組内容

① について

・関係機関に『ふたば』の理解を深める取組みを行う。
『ふたば』職員・保健センター保健師向け研修の実施
保育士向け『ふたば』現場実習に向けての準備

・健診からより『ふたば』に繋がる支援体制を見直すために作業部会を設置し、話し合いを行う。

② について

・保護者の意見を確認すること、シートの改善点の評価ができるよう、保護者向けアンケートを行う。

・保育士や教師との意見交換を実施する。

③ について

ヒアリングから出た課題と取組内容

課題	取組内容
関係機関との連携	年 2 回実施予定の学校教育課主催の相談支援専門員との交流会に参加。 (第１回目は顔合わせ、第２回目の内容は学校教育課と検討する)

保護者対応の難しさ	②の教師との意見交換の内容も参考にする。また、令和２年度地域課題報告書に同様の課題が上がっており、検討が必要。 (例：ペアレントプログラム研修の実施等)
外国籍児童の増加	学校教育課にて検討予定。 検討結果を部会内で確認する。

※上記取組内容を実施し、プランの作成につなげていく。

令和3年度　みよし市障がい者自立支援協議会　児童部会　年間計画表

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬
全体会日程													
部会日程					6				2				1
児童部会	①乳幼児健診以後の支援体制の見直し		☆	☆									
	取組内容	関係機関にふたばの理解を深める取り組みを行う。 児童発達支援運営委員会に参加する(年2回日程未定)。											
	②つながりシートの効果の確認		☆	☆→			☆	☆→	☆	☆			
	取組内容	保護者向けアンケートの修正、実施、集約を行う。 保育士や教師との意見交換を実施する。											
	3か年計画	2020		2021		2022			a 保護者向けアンケート b 保育士や教師との意見交換				
		a →		b →		→							
	③学齢期の課題のプラン作成(保護者対応の難しさについて)			☆	☆							☆	
	取組内容	課題の詳細を確認し、課題解消の取組につなげていく。											
	月ごとの取組内容	①～④年間スケジュールに関して、助言機関と打合せ ②シートの周知・啓発(園長会等への参加)	①担当者間で話し合い ③特別支援連携コーディネーターとの意見交換	①WG話し合い ②意見交換の実施(教師) ③課題の確認	第1回児童部会（6日） ③連絡会の開催		②意見交換の実施(保育士)	②保護者向けアンケートの配布、意見交換の実施	第2回児童部会（2日） ②意見交換振り返り	②保護者向けアンケートの集約		③連絡会の実施	第3回児童部会（1日）

《留意事項》
・会議メンバーは議題によって調整する。
・児童部会の会議日時については、年度当初に設定する（7月、１１月、3月の第1火曜日の１５時からとする）。

令和３年度　就労支援部会　運営目的等　資料NO.２－３

１　目的

はたらく意思を持っている障がい者及び障がい者を雇用している企業または障がい者を雇用しようとしている企業を支援するために、必要なシステムや事業等を協議・検討し、具体的に実施していく。

２　目標

① 職場体験先の職種を増やす。（令和３年目標１職種）

② 企業が積極的に障がい者雇用を考えるようになる

③ はたらくことについての問題点と課題を整理するとともに、就労支援部会の在り方を検討、整理する。

３　取組内容

① について

職場体験先の職種を増やすため、就労支援事業を中心にして市役所での体験実習を進めていく。

② について

企業を対象としたセミナーを企画し、開催する（２回/年）。

③ について

・みよし市内の中学の職場体験の実態を調査する
・部会検討 WG で調査方法を話し合い、福祉、教育、企業等の関係機関に協力を求めながら現状を把握し、問題と課題を整理していく。また、就労支援事業と就労支援部会での役割分担を明確化していく。

令和３年度　みよし市障がい者自立支援協議会　就労支援部会　年間計画表

	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
全体会日程											●												●												●	
部会日程																				○													○			
①職場体験先の職種を増やす。													☆				☆									☆				☆						
取組内容	職場体験先の職種を増やすため、就労支援事業を中心にして市役所での体験実習を進めていく。																																			
②企業が障がい者雇用を積極的考えるようになる。					☆			☆				☆	→	→	→	→	→	☆			☆			☆		☆	→	→	→	→	☆					
取組内容	企業を対象としたセミナーを企画し、開催する																																			
③はたらくことについての問題点と課題を整理するとともに、就労支援部会の在り方を検討、整理する。 ★職場体験実態調査 ☆部会検討WG		★	☆		★	☆		★	☆			☆		★	☆	→	→	☆	→	→	☆	→	★	☆			☆		★	☆	★					
取組内容	・みよし市内の中学の職場体験の実態を調査する（地域相談支援アドバイザー、西三河北部就業・生活支援センター、就労支援員、就労支援事業所、福祉課、事務局）。 ・部会検討WG（地域相談支援アドバイザー、就労支援員、就労支援事業所、福祉課、事務局）で調査方法を話し合い、福祉、教育、企業等関係機関に協力を求めながら現状を把握し、問題点と課題を整理していく。また、就労支援事業と就労支援部会での役割分担を明確化していく。																																			
月ごとの取組内容	③・職場体験ー調査WGにて調査方法の検討、実施 ・部会検討WGにて現状の確認。			②企業向けセミナー開催に向けて部会長、就労支援員、事務局（セミナーの内容、日時の仮決定） ③・職場体験ー学校教育課と打ち合わせ ・部会検討WGにてH22年度の課題の評価。			②企業向けセミナー開催に向けて関係機関と話合い（セミナーの内容、日時の仮決定） ③・職場体験ー今年度の実施状況の把握と調査依頼（学校教育課） ・部会検討WGにて将来像の共有。			②企業向けセミナー内容検討,日時確定 ③・職場体験ー各学校に訪問し依頼 ・部会検討WGにて問題点の検討			①市役所と職場体験打ち合わせ ②第１回企業向けセミナーの内容及び内容確定、周知 ③職場体験1か月前に各校に依頼 ・部会検討WGにて課題の検討。			①市役所職場体験実施 ②第１回企業向けセミナー開催、アンケートまとめ ③部会検討WGにて調査方法の検討			○部会開催、今年度の取組内容の報告 ②企業向けセミナー開催に向けてハローワーク、ナカボツと話合い（セミナーの内容、日時の仮決定） ③部会検討WGにて調査実施。			①ニーズ調査WGにて調査方法の検討、実施。 ②企業向けセミナー開催に向けてハローワーク、ナカボツと話合い（セミナーの内容、日時の仮決定） ③部会検討WGにて調査実施			①市役所と職場体験打ち合わせ ②第２回企業向けセミナーの内容及び日時確定、周知 ③部会検討WGにて調査まとめ。			①ア）市役所職場体験実施。 ③・職場体験ー調査とりまとめ ・部会検討WGにて調査まとめ。			②第２回企業向けセミナー開催、アンケートまとめ ③・職場体験ー調査とりまとめ			○部会開催、今年度の取組内容の報告		

令和３年度　精神保健福祉部会　運営目的等 資料NO.２－４

１　目的

精神保健福祉の関係機関が連携し、精神障がい者が地域で安心して生活していけるよう、支援システムを構築する。

２　目標

① 支援につながり、社会参加していける仕組みを作る。

② 当事者が地域で楽しんで活動できる仕組みを作る。

③ 入院に至らず、地域で生活していくための支援を検討し仕組み化する。

３　取組内容

① について

地域の「ひきこもり支援」を検討する連絡会を作る。

② について

当事者が当事者から学べる機会（学習会等）を開催する。

③ について

個別支援ケースを持ち寄り必要な支援を検証し、優先順位を決め、必要な支援づくりに取り組む。

※ ③についてはワーキンググループを作り、取り組む。

令和3年度　みよし市障がい者自立支援協議会　精神保健福祉部会　年間計画表

		4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
全体会日程													21											17												16	
部会日程										23												27											24				
精神保健福祉部会	①支援につながり、社会参加していける仕組みを作る			☆		☆			☆						☆			☆			☆						☆			☆			☆				
	取組内容	地域の「ひきこもり支援」を検討する連絡会を作る。																																			
	②当事者が地域で楽しんで活動できる仕組みを作る			☆		☆			☆												☆		☆			☆							☆				
	取組内容	当事者が当事者から学べる機会（学習会等）を開催する。																																			
	③入院に至らない地域生活のための支援の仕組み化			☆		☆			☆		☆	→	→	→	→	→	→	→	→	→	☆	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	☆				
	取組内容	個別支援ケースを持ち寄り必要な支援を検証し、優先順位を決め、必要な支援づくりに取り組む。																																			
	月ごとの取組内容	①②③ 年間活動について事務局打合せ			①②③ 年間活動について参加機関と打合せ			①②③部会内容について事務局打合せ ○ 第1回部会開催			③第1回WG開催以降、開催は必要に応じて決定			①ひきこもり支援連絡会について事務局打合せ			①第1回ひきこもり支援連絡会			①②③ 部会内容について事務局打合せ ○ 第2回部会開催			②講師打合せ			①ひきこもり支援連絡会について事務局打合せ ②学習会			①第2回ひきこもり支援連絡会			①②③部会内容について事務局打合せ ○ 第3回部会開催					

《留意事項》
- 会議の参加メンバーについては入れ替え可（固定しない）
- ③については、部会以外の日程でも活動できるワーキンググループをつくり、必要な検討や活動を進めていく。

令和３年度　医療的ケアさぽーと部会　資料NO.２－５

１　目的

日常生活を営むために医療を要する状態にある児（者）（以下「医療的ケア児（者）」という。）及びその家族の住み慣れた地域での生活をサポートする。ために、多職種が集まり、必要なシステムや事業などを協議・検討し、具体的に実施する。

２　目標

① 医療的ケア児（者）を地域に知ってもらう。

② 医療的ケア児（者）の受入れ場所を確保し、緊急時等に備える。

③ 今ある資源の評価と課題解決を行う。

④ 医療的ケア児（者）の対応可能な人材を増やし、育成するための研修会を開催する。

３　取組内容

① について

・WG を設置し、緊急時に対応できるよう地域に本人を知ってもらうための術を検討・実行する。

② について

・医療的ケア児（者）の一時的な受入れについて、市内医療機関と年間の動きを共に計画し、協議の場を設ける。

・市内の医療的ケアが必要な人やその家族の現状等、共有する機会を設ける

③ について

・医療的ケアが必要な方の情報ガイドを豊田市地域自立支援協議会と共同し、啓発と修正を行う。

・医療的ケア児等コーディネーターWG にて、医療的ケア児等コーディネーターの立場を確立するための検証と、医療的ケア費給付事業の周知啓発を行う。

④ について

・医療的ケア児（者）に対しての知識や技術を伝達できる研修を福祉事業所だけなく、保育・教育の場でも行っていく。

令和３年度　みよし市障がい者自立支援協議会　医療的ケアさぽーと部会　　年間計画表

		4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
全体会日程																																					
部会日程																		○														○					
医療的ケアさぽーと部会	① 医療的ケア児（者）を地域に知ってもらう。											○			○						○						○										
	取組内容①	WGを設置し、緊急時に対応できるよう地域に本人を知ってもらうための術を検討・実行する。																																			
	② 医療的ケア児（者）の受入れ場所を確保し、緊急時等に備える。											○												○											○		
	取組内容②	・医療的ケア児（者）の一時的な受入れについて、市内医療機関と年間の動きを共に計画し、協議の場を設ける。 ・市内の医療的ケアが必要な人やその家族の現状等、共有する機会を設ける。																																			
	③ 今ある資源の評価と課題解決を行う。								○						○						○						○										
	取組内容③	・医療的ケアが必要な方の情報ガイドを豊田市地域自立支援協議会と共同し、啓発と修正を行う。 ・医療的ケア児等コーディネーターWGにて、医療的ケア児等コーディネーターの立場を確立するための検証と、医療的ケア費給付事業の周知啓発を行う。																																			
	④ 医療的ケア児（者）の対応可能な人材を増やし、育成するための研修会を開催する。																							○													
	取組内容④	医療的ケア児（者）に対しての知識や技術を伝達できる研修を福祉事業所だけなく、保育・教育の場でも行っていく。																																			
	月ごとの取組内容							①事例検討で出た課題の整理を行い、部会員に協力を求めチームを組む。 ③部会員でチームを組み、検証や検討を行う。			②市内医療機関と年間計画を作成する。			①課題解決の取組を行う。 ③6月に行った検証や検討に対し、評価を行う。			部会開催			①課題解決の取組を行う。 ③８月に行った評価を基に、改善ないし配置をしていく。			④市内事業所に対し、研修会を開催する。			①課題解決の取組を行った評価を行う。 ③豊田市地域自立支援協議会と情報ガイドの評価を行う。						部会開催			今年度の評価②次年度の取組を市内医療機関と協議する。		

『留意事項』
・部会員は議題によって調整する。
・市内事業所向けの研修会は、「医療的ケア児の生活（仮）」とし、市内訪問看護ST（部会員）へ依頼予定。
・第１回部会では昨年度末に行った事例検討のモニタリングを行う。第２回部会では再度事例検討を行う。